



十三中だより

令和7年2月3日(月)

2月号

校長 吉田 祐一

みづか かんが こうどう まえ む どりよく こころ たいせつ
自ら考え行動できる 前向きに努力できる 心を大切にできる

多くの受験生が私立高校に挑みます 健闘を祈る

なんと 何度となく、「十三中だより」で触れてきましたが、3年生の入試が始まっています。
もっと はや ひと さくねん 最も早い人で昨年の11月に受験がありました。12月、そして1月に入ってから18
日、25日、26日と順次進んでいます。他府県を受験する人の中には今週、本番を迎え
る人もいます。そして来週の10日には、大阪の私立高校の入試となります。大阪の
大半の受験生が朝から会場に向います。

3年生の教室内でも、今までとは違った緊張感が漂っていると思います。全校
集会でも話をしましたが、受験当日に向けた心準備を示します。

一、体調管理…これが一番大切です。十分な睡眠をとり、昼夜逆転している人は元
に戻しましょう。

一、勉強内容…わからない問題、難しい問題について、今週は脇に置いておき、う
ろ覚えや大切なことを再確認しましょう。

一、準備…面接がある人はもちろんですが、全員が服装を整え、筆記用具そして、指
定されている受験票など早めに用意しましょう。

一、下調べ…まだ、一度も受験校(地)に行っていない人は、友達が知っているから
と任せきりにせず、自分で行って、確認しておきましょう。

健闘を祈ります。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る ですが

だれ い 誰が言いたかたは定かではありませんが、表題の表現は言い古されています。各月
の頭文字の読みをとった語呂合わせなのでしょうが、この時期、つくづくそう実感しま
す。今月号の「十三中だより」も先週末、ふとした折に、「そうそう、来週からは2
月」ということに気づき、書き始めました。

1月があっという間に過ぎ、1週間のスピードが速く感じてしまいます。時間の速さは
均一であることはわかっているのですが…。しかし、こんな時期だからこそ、1日のどこ
かでゆっくり、落ち着いて物事を考える余裕をあえて作ってみたいものです。